

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公表番号】特表2007-516074(P2007-516074A)

【公表日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-544287(P2006-544287)

【国際特許分類】

B 0 1 J 8/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 8/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年4月16日(2012.4.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

触媒床を通過する混合ガスの実質的に軸方向の貫流のある合成反応器、例えば酸化脱水素反応の合成反応器の内に酸素を噴射する方法において、酸素が純粋な状態で、あるいは空気として、あるいは不活性ガスまたは水蒸気との混合状態で触媒床上に配置された環状分配装置系に供給され、かつ環状分配装置系内で多数の吹出し口から、垂線から偏った傾斜する角度で触媒表面に噴射されることを特徴とする方法。

【請求項 2】

酸素の噴射が、反応器の中心方向におよび / または反応器壁の方向におよび / または正接方向に行なわれることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

酸素の噴射が、環状分配装置の各環毎に、正接方向に行なわれ、かつ、環状分配装置の環から環へ変えた位置で行われる、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

酸素の噴射が、触媒床の上方約 50 ~ 300 mmで行なわれ、この噴射が触媒床の上方の空域内において 1 秒以内の酸素滞留時間を保証することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の方法。

【請求項 5】

触媒床を通過する混合ガスの実質的に軸方向の貫流のある合成反応器、例えば酸化脱水素反応の合成反応器内に酸素を噴射する、特に請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の方法を実施するための装置において、

環状分配装置が吹出し口(6)を備えかつ触媒床(3)上の多数の同心の管路(7)よりなり、この場合垂線から偏った傾斜した角度で酸素を吹き出すための吹出し口(6)が触媒表面上に形成されていることを特徴とする上記装置。

【請求項 6】

触媒床が中央に配置されておりそして触媒床の上に混合ドームを有する請求項 5 に記載の装置において、中央のガス供給管(2)を取り囲む酸素の環状分配装置(7)を特徴とする、上記装置。

【請求項 7】

環状分配装置がガス吹き出し口を有する多数の共軸配置された環状管(7)で形成されて

おり、該ガス吹き出し口（６）が反応器中心へ方向におよび／または反応器壁方向におよび／または正接方向のガス流を保証する、請求項５または６に記載の装置。

【請求項８】

隣接したガス吹き出し口（６）が様々な流動物吹き出し方向を有していることを特徴とする請求項５～７いずれか一つに記載の装置。

【請求項９】

ガス吹き出し口（６）が、隣接した環状管路の隣接した吹き出し口と互い違いになるように位置決めされていることを特徴とする請求項５～８のいずれか一つに記載の装置。

【請求項１０】

ガス吹き出し口（６）が穿孔あるいはノズルとして形成されていることを特徴とする請求項５～９のいずれか一つに記載の装置。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１０

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１０】

本発明は、環状分配装置が吹き出し口を備えかつ触媒床上の多数の同心の管路よりなり、この場合吹き出し口が垂線から偏った傾斜した角度で触媒表面上に酸素を吹き出すために形成されていることを特徴とする、上述の課題を解決するための装置にも関する。